既に2度の法案見送り。3日ノ対策でさらに遅れるか？

定年延長法案提出か？！

国家公務員の定年延長のための国家公務員法改正案は3月上旬にも提出されると報道されていましたが、新型コロナウィルス対応で遅れているようです。

政府は18年8月の人事院の意見の申し入れを受け、2019年の通常国会への改正案提出を目指していました。しかし、統一地方選や参院選を控え、公務員の人件費が増えるとの反発を避けるため、提出を断念。2019年の臨時国会も、天皇陛下の即位関連行事などで審議日程が窮屈なことから再び見送りました。すでに当初より実施が1年遅れとなっていることから、これ以上の引き延ばしは避けなければならない状況です。

政府案最大の問題点は、人件費膨張を抑え込むため60歳を超えた翌年度からの給与を7割程度へ減額する点です。65歳定年が完成するまで継続される再任用制度の賃金水準にも影響を与えかねません。同一労働同一賃金の原則からすれば、年齢を理由とした賃金引き下げは不当です。

安倍政権は、定年延長を少子化による人手不足対策や高齢者の活躍促進策の一環として位置づけ、民間にも広げたいと考えています。そうであるならば、8時間働けば人間らしい健康で文化的な生活を送るだけの賃金水準が絶対に必要です。安心して働ける定年制度実現に向けて声を上げていきましょう。

定年延長・再任用・年金支給シミュレーション

2020年度の年齢		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度	2033年度	2034年度	2035年度
61歳	昭和34年4月2日～昭和35年4月1日	60歳定年	再任用 無年金	再任用 無年金	再任用 無年金	再任用 無年金	再任用 年金一般支給	年金満額支給										
60歳	昭和35年4月2日～昭和36年4月1日		60歳定年	再任用 無年金	再任用 無年金	再任用 無年金	再任用 年金一般支給	再任用	年金満額支給									
59歳	昭和36年4月2日～昭和37年4月1日			60歳定年	再任用 無年金	再任用 無年金	再任用 無年金	再任用 無年金	再任用 無年金	年金満額支給								
58歳	昭和37年4月2日～昭和38年4月1日				60歳	61歳定年	再任用 無年金	再任用 無年金	再任用 無年金	再任用 無年金	年金満額支給							
57歳	昭和38年4月2日～昭和39年4月1日				60歳	61歳定年	再任用 無年金	再任用 無年金	再任用 無年金	再任用 無年金	年金満額支給							
56歳	昭和39年4月2日～昭和40年4月1日				60歳	61歳	62歳定年	再任用 無年金	再任用 無年金	再任用 無年金	年金満額支給							
55歳	昭和40年4月2日～昭和41年4月1日					60歳	61歳	62歳定年	再任用 無年金	再任用 無年金	再任用 無年金	年金満額支給						
54歳	昭和41年4月2日～昭和42年4月1日					60歳	61歳	62歳	63歳定年	再任用 無年金	再任用 無年金	年金満額支給						
53歳	昭和42年4月2日～昭和43年4月1日						60歳	61歳	62歳	63歳定年	再任用 無年金	再任用 無年金	年金満額支給					
52歳	昭和43年4月2日～昭和44年4月1日						60歳	61歳	62歳	63歳	64歳定年	再任用 無年金	年金満額支給					
51歳	昭和44年4月2日～昭和45年4月1日							60歳	61歳	62歳	63歳	64歳定年	再任用 無年金	年金満額支給				
50歳	昭和45年4月2日～昭和46年4月1日							60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳定年					

これは、政府が固めたと報道される2022年度から2年ごとに1歳ずつ引き上げて、2030年度に65歳定年を完成させる方針のシミュレーションです。

2020年度　道高教組札幌支部役員

新年度　札幌支部役員

支部長	手稲養護	桑原　岳夫
副支部長	東商業	江別　野上　徹哉
〃	恵庭北	道端　剛樹
〃	丘珠	野村　健治
書記長	恵庭南	丸山　稔
書記次長	稲雲	福士　直尚
〃	支部	北村　亮一
〃	新篠津高養	西島　智子
執行委員	札北	中道　洋友
〃	伏見支援	谷代　晃子
〃	有朋	木村栄二朗
〃	東豊	秋田　哲
〃	恵庭北	赤石　真人
〃	恵庭南	河野　樹人
〃	北広西	酒井　伸一
女性部長		白陵　志波　晴世
実習教員部長		札工定
現業職員部長		石渡　和広
定通部長		東陵　角谷　哲司
障害児学校部長		恵庭南　伊藤　政伸
青年部長	真駒内養護	渡辺　晃子
養護教員部長	手稲養護	細谷　拓樹
事務職員部長	札工全	相馬　優子
	石狩翔陽	阿部　広仁
会計監査委員	手稲	上西　亮
〃	稲雲	鈴木　克幸
中央委員	手稲養護	桑原　岳夫
	丘珠	丸山　稔

今年度も、精一杯頑張りますので、皆さんの、ご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いします。

道高教札幌支部組第81回定期大会

日程を短縮して開催

2月22日に召集された道高教組札幌支部第81回定期大会は、「集会の開催を見合わせる団体のあるなかで、命の危険にさらされやすい子どもたちを相手に注意しながら勤務している特別支援学校の教職員の立場からすれば、長時間にわたる日程で教職員組合が大会を行うことはいかがなものか。議事を必要最小限に絞るなどしてほしい」との緊急動議を受け、大幅に日程を縮小して開催されました。

提案された1・2・3・4号すべての議案は満場一致で採択されました。選挙管理委員長から、支部役員の全員信任されたことの報告を受け、ほぼ午前中に大会を閉会しました。参加していた青年組合員は「組合は本当に民主的に運営されているんだなと分かりました」と語っています。

また、大会終了後開催予定の「退職組合員を囲む会」は、自主的参加により時間を繰り上げて開催。参加予定の皆さんには急な時間変更をお願いして、参加予定の退職者の皆さん全員に参加していただきました。感謝状・記念品贈呈のあと、退職者の皆さん、お一人おひとりから、教職の思い出、組合活動に対する熱い思いが語られました。短い時間時間でしたが、大変楽しくも、メッセージを受け取った現役世代にとっては厳粛な気持ちとなるひと時でした。

退職される皆さん、本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

札幌支部定期大会アピール　当事者として、声をあげ続けよう

9月25日、道高教組が呼びかけた英語の民間試験の大学入試活用の中止を求める抗議行動に、札幌市内の高校3年生が「自分たちにかかわることなのに勝手に決めないで欲しい」と飛び入り参加してきました。秘密裏に白陵高校との併設計画がすすめられた札幌養護学校の保護者は憤慨し、保護者説明会がくり返されています。当事者の存在をないがしろにして決定されたことに、憤りの声があがることは当然です。ましてや公共性の高い事柄であればなおさらです。

しかし学校現場では、「職員室で子どもの話ができない」など職場で失敗や本音を語れず、だれにも相談できない状況が広がっているのではないでしょうか。「人事評価制度」で縛られ、「スタンダード」「ゼロ・トレランス」が蔓延するなか、子どもの成長・発達を第一に考えるよりも「要領よく振舞うか、否か」で教職員の優劣が決められてはいませんか。指導の不十分さが気にかかり、たえず「自己責任」と向き合わされることで、声があげづらくなっていませんか。

個性豊かで多様な子どもたちを育むために、私たちの仕事は自由で創造的でなければなりません。そこに私たちはやりがいを見つけ、教育という仕事の醍醐味を味わうことができるからです。私たちが思考を停止させ、口をつぐみ物言わぬ教職員となることほど、権力にとって都合のよいことはありません。大勢に流されず立ち止まって、深く考え、声をあげ続けることは、私たちの仕事が自由で創造的であり続けるために非常に大切です。また、私たち教職員が憲法をないがしろにする安倍教育改革に対して当事者として声をあげることは、戦争する国づくり・財界のための人材づくりに反対し、目の前にいる子どもの今から出発する学校づくりのためにも欠くことはできません。

多くの教職員が過労死ラインを超える長時間過密労働にさらされ、教職は「超ブラック」であるとの認識が、教職を敬遠する若者を増やし、採用試験の倍率低下を招いています。北海道では欠員補充もままならずに「教育に穴があく」状態が広がっています。そんな中、教職の魅力を回復させることを口実に、1年単位の変形労働時間制導入を可能にする給特法一部改訂が強行されました。付随して在校等時間の上限を定めた指針が策定されましたが、逆に長時間労働が固定化され、その実態が見えづらくされ、勤務時間管理をめぐり、時短ハラスメントや自己研鑽ハラスメントなども心配されます。超勤解消どころか教職の魅力回復も期待できません。1年単位の変形労働時間制は決して他人事ではありません。私たち自らが職場に絶対導入させないと声をあげること、「せんせいふやそう」の声をひろげることこそが、超勤解消のために必要であり、職場の同僚性や教職の魅力を回復させるための近道となります。

道高教組札幌支部は「教え子を再び戦場に送らない」との決意を胸に刻み、「職場に自由を、教室に真実を」をめざして運動を続けてきました。組合員が減っている中でも、若い組合員たちは自分たちの要求に基づき、自分たちがめざす教育や平和の意味について考え、声をあげ、着実に足を踏み出し、新しい風を吹きこんでいます。慌ただしい日常ですが、足下を見つめ直し、学校と子どものために何ができるのか、当事者として今一度考えてみませんか。そして、多くの同僚に組合加入を呼びかけ、当事者同士が繋がり合って新しい風をまき起こしていけるよう、ともに頑張りましょう。

2020年2月22日　道高教組札幌支部　第81回定期大会